

「日本一安心して子どもを産み育てやすいまち」の実現に向けて

1 要 旨

静岡市を「日本一安心して子どもを産み育てやすいまち」にするために、昨年度、子ども未来局を中心に「子育て・教育環境の充実に向けた研究会」を立ち上げ、市民の皆様の声をもとに、必要となる施策の検討を重ねてきた。

令和6年度は、新たな一歩として、子育てに関する不安や要望を踏まえた新しい支援や取組をスタートした。しかし、まだまだ課題は山積している。今後、山積する課題の一つひとつについて迅速に新たな取り組みを進め、「日本一安心して子どもを産み育てやすいまち」の実現を目指す。

静岡市の詳しい子育て施策については、「しずおかし子育てハンドブック」、「静岡市子育て応援総合サイト ちゃむしずおか」、「静岡市ホームページ」に掲載している(資料 P17)。

2 静岡市の現状

国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第10～16回出生動向基本調査」や令和5年度に本市が実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」からは、『結婚したいけど、相手がいない…経済的にも不安…』、『子どもが安心して遊べる・学べるような場所がほしい』、『子育てや教育にお金がかかる』などの市民の皆様から不安の声や要望があった。

さらに、令和5年度に本市が実施した市民意識調査では、『静岡市は子育てしやすいまちだと思うか。』という問いに対して、『そう思う』と答えた市民の割合は全体の34.8% (30代は30.6%)に留まり、24.9% (30代は30.6%)の市民は『そう思わない』と答えており、子育てに対する市民の満足度は低い(『わからない』と答えた市民は38.2% (30代は38.0%))。

加えて、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが、令和4年・令和5年に実施した地域幸福度(Well-Being)指標の全国調査では、本市は「子育て」の分野で、主観指標(アンケート調査により算定)が20政令市中17位、客観指標(外形基準により算定)が20政令市中6位となっている。客観指標が高く主観指標が低い状況は、市が子育てで支援策を行っているものの、市民の実感はそれでは不十分と感じていることを示している。

また、このような状況で、本市は、2012年から2022年の10年間で出生数が28%減少し、合計特殊出生率は、1998年からは継続して浜松市や静岡県よりも低い数値となっている。50歳時の女性の生涯未婚率が2020年には17.2%と、静岡県平均や浜松市よりも高く、また、50歳時の男性の生涯未婚率も26.2%と高く、このことが本市の出生率の低下の大きな要因となっている。

人口減少自体は大きな社会問題だが、「個人の幸せ」という観点で見た場合、「結婚した

い、「子どもを持ちたい」、「静岡市に住み続けたい」という希望が叶わないこと自体が大きな問題である。これまでの本市の取組ではそういった市民の皆様の声に十分に応えることができていなかった。

3 3つの支援の柱

本市では「結婚・出産支援」、「子育て支援」、「子育て支援」の3つの支援の柱を立て、市民の皆様の声に応えていく。

- ① 「結婚・出産支援」 結婚・出産を希望する人が、結婚・出産しやすい環境づくり
- ② 「子育て支援」 安心して楽しく子育てができる環境づくり
- ③ 「子育て支援」 子ども、若者を誰ひとり取り残さず成長できるための支援

また、結婚、妊娠、出産、子育てといった、個人のライフステージに合わせた支援を行うことで、市民の皆様がその時に「欲しい！」と思う支援を届けていく。一つ一つの支援が、次世代の子育て支援へと繋がっていくような重層的な繋がりのある支援を行う。

4 2024年度の主な取組

(1) 結婚の支援 【資料 P6】

- ① 婚活イベントの開催（しずおかエンジェルプロジェクト）**拡充**

結婚・出産支援の一つとして、結婚を希望する独身の方に向け、“参加しやすい出会いのイベント”を開催している。市民や企業と連携しながら、地域ぐるみで結婚支援を行っている。

- ② 新婚生活に係る費用を補助 **拡充**

静岡市で新婚生活を始める方に、6か月分の家賃・共益費などや住宅購入等の経費に対して、補助金を交付している。上限は県内最高額の80万円。

(2) 不妊治療に対する経済的支援 【資料 P7】

- ① 先進医療の本人負担分の一部を助成 **新規**

令和4年4月以降、不妊治療が保険適用となったことに伴い国の医療費助成制度が廃止された。一方で、保険適用外である先進医療は全額自己負担となっている。不妊治療を受ける方の8割程度が保険診療と併用して先進医療を受けており、その経済的負担は大きくなる。そこで本市では、静岡県と連携して妊娠率の向上が期待できる先進医療の費用の一部を助成することで保険適用外の先進医療を受ける夫婦の経済的負担を軽減する。

(3) 妊娠期から子育て期にかけての訪問支援 2023年10月から開始 【資料 P8】

① 1歳・2歳児家庭への相談員（保育士等）の訪問 **継続**

妊娠や子育てへの不安などの心理的負担を軽減するため、妊娠期から子育て期にかけての伴走型相談支援を行っている。妊娠後期訪問、出産後の赤ちゃん訪問に加え、1歳児、2歳児のタイミングで訪問する。子どもの成長に合わせて悩みが増えるタイミングに、助産師や保育士等の専門家による支援を行い、気軽に相談できる機会を提供する。

(4) 保育料の負担軽減 【資料 P9】

① 第2子以降の保育料無償化 **継続** 2023年4月から開始

認可保育施設に通う世帯の0～2歳児の第2子以降の保育料を無償化している。これは、その世帯の所得やきょうだいの年齢、就学に関係なく、第2子以降であれば保育料を無償にしている。

② 認可外保育施設でも第2子以降の保育料を助成 **新規**

令和6年4月からは、認可外保育施設に通う第2子以降の保育料に対しても助成を行っている。対象者は、国の基準を満たした認可外保育施設に通う世帯の0～2歳児の第2子以降の子で、一人あたり月額19,000円を上限としている。

(5) 発達の気になる子への支援 【資料 P10】

① 1歳半からの超早期支援 **拡充**

1歳半からの発達の気になる子への支援を行っている。近年、言葉がなかなか出てこない、落ち着きがないといった発達が気になる子が増えている。そこで本市では、1歳半からの超早期発達支援として、2つの支援の場を開催している。1つは、「あそびのひろば」で、1歳6か月健診で把握した発達が気になる子に対して、支援の必要性を見極める場を提供している。もう一つは「ぱすてるひろば」で、あそびのひろばから引き続き支援が必要な子を支援先につなぐ役割をしている。令和6年度からは会場を増設している。

② 入園後も手厚くサポート（こども園・保育所等気になる子への保育支援）

入園中の子どもにも引き続き支援が必要な子へのサポートを行っていく。園児の中に特別な配慮が必要な「発達の気になる子」がいるのかを十分に確認しながら、園児それぞれに合わせた教育や保育を実施していく。

(6) 子育ての悩みを社会福祉の専門家に相談できる 【資料 P11】

① 保育ソーシャルワーカーによる市立こども園巡回 新規

子育ての悩みを一緒に考える専門家（保育ソーシャルワーカー）が、市立こども園を巡回し、保護者と面談を実施する。ソーシャルワーカーとは、社会福祉士や精神保健福祉士などの社会福祉の専門家である。これまで静岡市の小中学校においてスクールソーシャルワーカーが活躍している一方で、保育の場面では主に保育教諭が子どもや家庭の問題の相談に応じていた。しかし、DVなどの家庭に深く入りこんだ問題や、発達特性、経済的な問題などデリケートな問題、多方面にまたがる複雑な問題には、保育教諭の立場からは対応が難しいこともある。そこで、保育ソーシャルワーカーが家庭に寄り添って幅広い課題を受け止め、子育てをサポートする機関と家庭をつなげる役割を果たしていく。

(7) 子どもの遊べる場所の整備 【資料 P12】

子育て世帯からは、特に雨天時等の子どもの遊び場の拡充の要望が多くある。

① 廃校を利用した中山間地の遊び場 新規

清水区の廃校となった旧西河内小学校に「子どもの遊び場」を令和6年度期間限定で開設している。体育館や多目的室という広い空間と学校の設備を活用し、屋内で子どもが自由に体を動かせる環境となっており、未就学児から小学校高学年が楽しめるようになっている。今後、設置場所を増やす予定。

② 中心市街地の遊び場（清水駅前銀座商店街の遊び場） 新規

中心市街地に屋内型遊び場を設置する民間事業者への支援を行い、遊び場を提供していく。この他、清水地区中心市街地では、清水駅前銀座商店街に遊び場を設置する。商店街全体が遊び場となり、オープンスペース等で自由に過ごすことや、遊びや学び、体験のできるイベントなども開催する。

(8) 子どもの居場所づくり 【資料 P13】

① 放課後児童クラブの土曜日の開所を清水区でもスタート 拡充

これまで清水区の大半の放課後児童クラブでは土曜日を開所していなかったため、土曜日にクラブを利用したいという市民ニーズに応えられていなかった。そこで、令和6年10月から清水区内4か所の拠点で新たに土曜日開所を行い、周辺クラブの児童も一緒に受け入れる。

(9) 勉強や生活に関する子どもへの支援 【資料 P14】

① 子どもたちの学習をお手伝い（子どもの貧困対策学習支援） 拡充

本市では、生活保護・就学援助・児童扶養手当受給世帯の小学生から高校生までを対象

に、学習支援と生活支援を実施している。学習支援では、学校の宿題、復習、受験対策等の子どもが希望する学習を、大学生や社会人のボランティアが個別指導方式で実施している。また、学習指導だけでなく余暇活動等を通じた居場所の提供や子どもの気持ちに寄り添った支援を行っている。生活支援では、困難を抱えた家庭環境で育った子どもなどに対して、家庭的な雰囲気の中で、食事の支度や余暇活動等、家庭での通常の体験をしてもらい、生活習慣を身に付け、生活への意欲を高める場を提供している。令和6年度から会場を増設している。

(10) 子育て世帯向けの住宅支援 【資料 P15】

① 子育て世帯等の住替えに係る住宅改修補助の拡充 拡充

子育て世帯に対し空き家の住替えを支援するため、空き家情報バンクに登録した住宅を購入し改修工事をした場合に、100万円を上限とした助成を実施してきた。令和6年度からは空き家を購入又は賃貸借し改修工事をした場合を助成対象とし、子育て世帯に加え40歳未満の夫婦世帯に拡充するとともに、助成額も上限200万円へと増額する。

② 子育て世帯・40歳未満の夫婦世帯に宅地を提供 継続

子育て世帯・40歳未満の夫婦世帯を対象とした市営住宅跡地の宅地提供事業を実施している。平成22年度に事業を開始してから、これまでに32区画が、子育て世帯に購入されている。令和6年度は駿河区の高松と向敷地で各1区画、提供予定。

5 今後の子育て支援

子育て支援にとって、重要なことは、市民の皆様が感じている不安や悩みに丁寧に寄り添い、それを解決していくことである。現在、本市が行っている子育て支援は、まだまだ、十分とは言えない。「子どもが病気にかかった時の預け先の問題」、「不登校の問題」、「給食費の問題」、「医療費の問題」、「子どもの貧困の問題」など、子どもを取り巻く問題は、山積している。

今後、市政変革研究会「子育て教育分科会」を活用し、子育て環境を取り巻く多数の課題について指標（目標値）を設定する。その指標を改善させる取組を進めつつ、逐次、改善状況を指標をもとに評価し、不足する支援を増やす仕組みを取り入れる予定。

指標を改善し続けることで、「主観・客観ともに、日本一安心して子供を産み育てやすいまち」の実現を目指していく。

引き続き、市民の皆様が抱えている子育てに関する不安や悩みをお聞かせいただき、「社会の大きな力」と協働して、市民の皆様が「欲しい！」と思う支援を届けていく。

担当：子ども未来課(054-354-2603)

結婚への安心

ハグくむ子育てへの安心

ハグくまれる子育ての安心

日本一安心して
子どもを生き育てやすいまちの
実現に向けて

市民の声の例

結婚したいけど、
相手がいない…
経済的にも不安…



出典:国立社会保障・人口問題研究所
「第10～第16回出生動向基本調査」をもとに作成

子どもが安心して
遊べる・学べるような
場所が欲しい!

出典:R5年度静岡市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」をもとに作成

放課後児童クラブを
土曜日も利用したいな

出典:R5年度静岡市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」、
「子育て・教育環境の充実に向けた研究会」資料をもとに作成



保育料を安くして
欲しい!

出典:R5年度静岡市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」をもとに作成

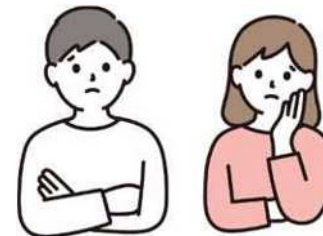


子育ての情報って
どこから入手すれば
いいんだろう…

出典:R5年度静岡市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」をもとに作成

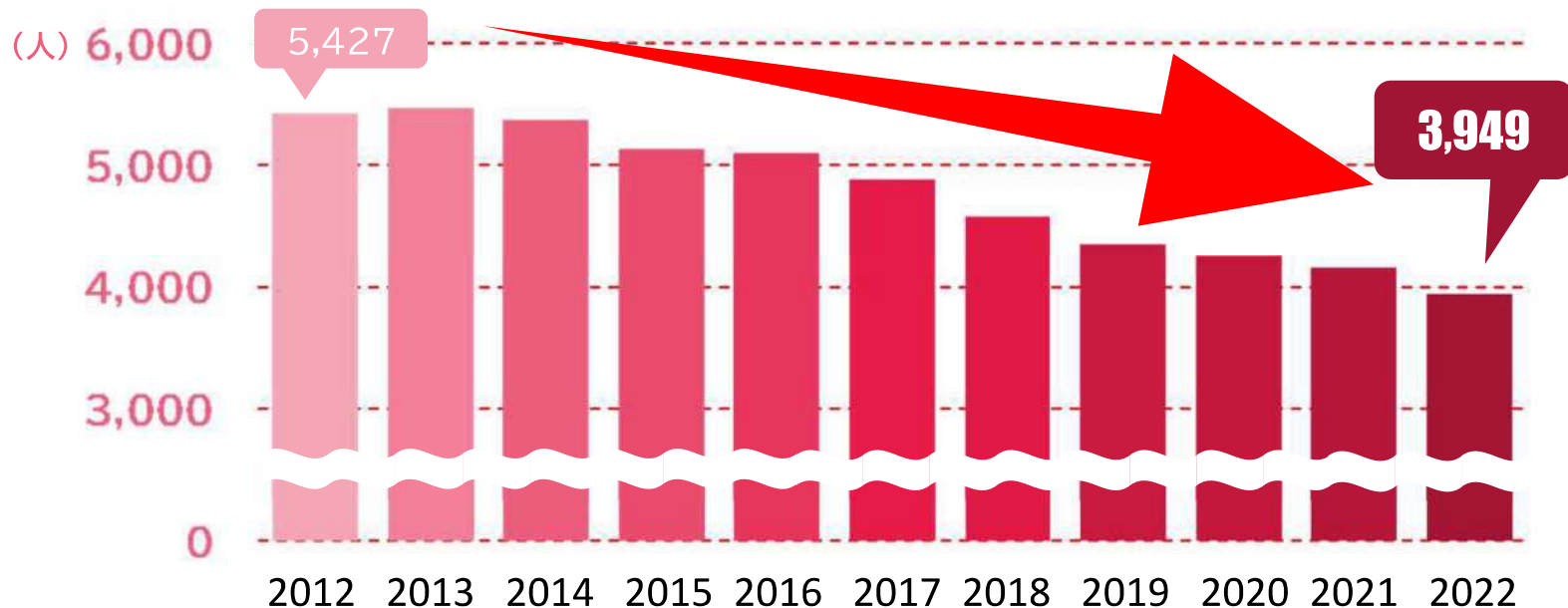
うちの子の発達が
気になる…
何か支援はないかな?

出典:R5年度静岡市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」をもとに作成



静岡市の現状

● 静岡市の出生数



右肩下がりで推移



10年間で
28%減

● 静岡市の合計特殊出生率(一人の女性が生涯に産む子どもの数の平均)

	1998~2002年 平均	2003~2007年 平均	2008~2012年 平均	2013~2017年 平均	2018~2022年 平均
静岡市	1.34	1.30	1.40	1.44	未
静岡県	1.46	1.44	1.53	1.54	未
浜松市	1.52	1.48	1.57	1.59	未

浜松市や
静岡県よりも
静岡市は
低い

出典:人口動態保健所・市区町村別統計

※当該期間中の国勢調査年における10月1日現在の日本人女子人口(国籍・年齢不詳を案分した後の人口)を用いて算出
※1998~2002年平均の静岡市及び浜松市は、合併前の旧静岡市、旧浜松市の数値

課題

子育てに関する様々な不安、要望の声

対策

「日本一安心して子どもを産み育てやすいまち」の実現に向けて、

- 結婚・出産を希望する人が、結婚・出産しやすい環境づくり
- 安心して楽しく子育てができる環境づくり
- 子ども、若者を誰ひとり取り残さず成長できるための支援

目標

「日本一安心して子どもを産み育てやすいまち」を実現し、市民の皆様の声に寄り添う

結婚～子育てにおける静岡市の支援

3つの柱で、皆さんの声に応えます！

結婚・出産 支援

結婚・出産を希望する方の 目線

結婚・出産を希望する人が、
結婚・出産しやすい環境づくり

子育て支援

子育て当事者である保護者の 目線

安心して楽しく子育てができる
環境づくり

子育て支援

子ども・若者自身の 目線

子ども、若者を誰ひとり取り残さず
成長できるための支援

ライフステージに合わせた支援



新婚世帯への
住居費
最大80万円
補助



不妊治療の
先進医療費
7割相当
5万円まで助成



子育てに関する
LINE配信



1歳・2歳児が
いる家庭に
保育士等が
訪問相談支援

自分磨きセミナー付き
婚活イベント開催
結婚応援

「欲しい！」と思う支援を 届けていく

子育て世帯向けの
住宅支援

放課後児童クラブ
清水区内4か所
土曜日開所の実施



第2子以降の保育料

認可: **無料**
認可外: 一部助成

1歳半~入園中の
発達の気になる子
一人ひとりの
発達段階に
合わせた支援



経済的に困難を
抱える家庭の
小学生~高校生まで
学習機会や居場所を
週1回、無料で提供

雨の日にも
困らない
子どもの遊び場
設置



子育てに寄り添う
保育ソーシャルワーカー
の活用



結婚へのハードルを下げます！

結婚・出産
支援

婚活イベントの開催



(しずおかエンジェルプロジェクト) (結婚新生活支援)

- 参加しやすい出会いのイベントの開催
- セミナーで自分磨きをお手伝い
- 市民、企業と連携して、地域ぐるみで 結婚を支援



新婚生活に係る費用を補助 (家賃・共益費)

対象 当該年度に結婚した夫婦
結婚時に夫婦ともに39歳以下
夫婦の前年合計所得が500万円未満

対象経費 敷金、礼金、仲介手数料

家賃・共益費→**6か月分**

引越し費用、住宅購入費、
リフォーム代 等



上限額

一律

80万円

県内最高額!!



交付には各種条件があります。
詳細は、市のホームページをご覧ください。 6

不妊治療に対する経済的支援の充実

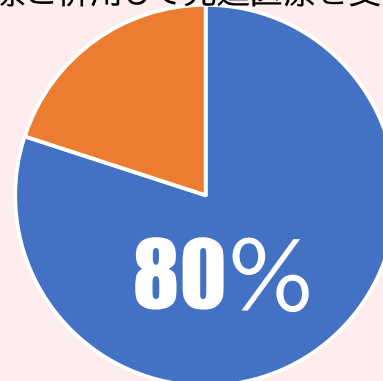
結婚・出産
支援

(不妊治療支援)

現状

患者の約80%が保険診療と併用して先進医療を受けている

保険診療と併用して先進医療を受けている患者の割合



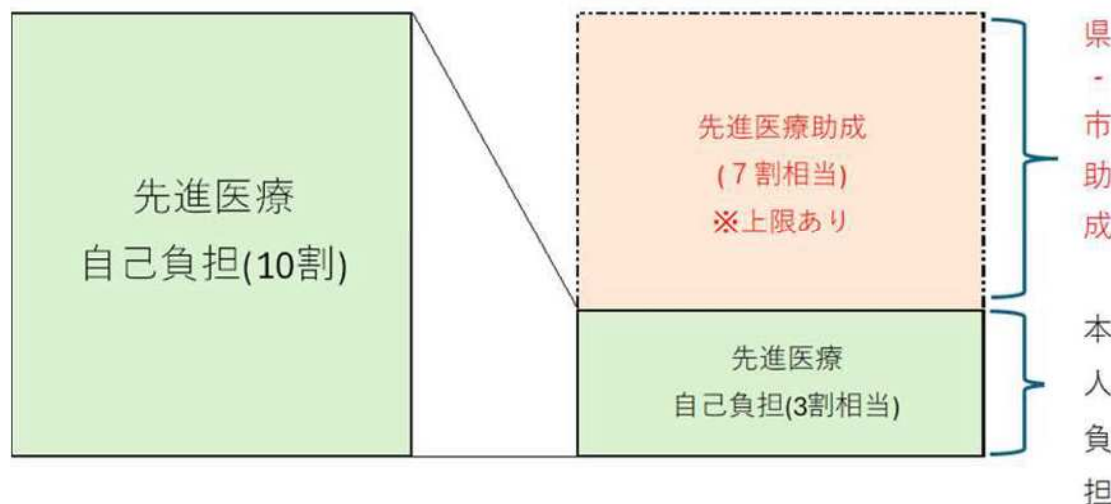
■ 受けている
■ 受けていない



先進医療を受ける方の本人負担分を軽減

【助成前】

【助成後】

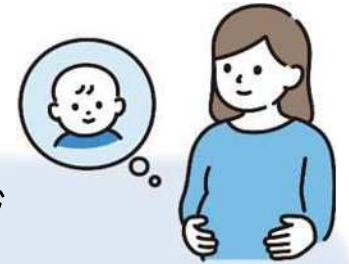


※本人負担額のイメージ

- 補助対象：保険診療と併用した先進医療の自己負担額
- 補助率：7割
- 補助額：上限5万円／1回
- 回数：治療開始時の妻の年齢
40歳未満 6回
43歳未満 3回 ※保険診療に準じる

(伴走型相談支援)

1 歳・2歳児家庭への相談員（保育士等）の訪問



- 保育士等の相談員が希望される方の自宅に伺い、悩みに応じたアドバイスをを行います
- 妊娠後期訪問だけでなく**1歳児、2歳児**も対象です！
- 育児のちょっとした悩みでも相談できます♪



伴走型相談支援のイメージ



(第2子以降の保育料負担軽減)

第2子以降の保育料無償化



- 世帯の所得やきょうだいの年齢・就学に関わらず、第2子以降の保育料を**無償化**
- 対象施設: 認可保育施設
園に預けやすくなり、働きやすさに繋がる！！



認可外保育施設でも第2子以降の保育料を助成します！



認可外保育施設も預けやすくなります♪

- 対象者 : 国の基準を満たした認可外保育施設に通う0～2歳児の第2子以降の子
- 助成額 : 一人あたり上限月額19,000円
- 開始時期 : 令和6年4月～

1歳半～入園中の発達気になる子への支援

子育て支援

(発達早期支援 (あそびのひろば・ぱすてるひろば))
(こども園・保育所等気になる子への保育支援)

なかなか言葉が
出てこないな...



うちの子ども、
ちょっと落ち着きが
ないかもしれない...

1 歳半からの超早期支援

「遊び」を中心に一人ひとりの特性に応じた関わり方を
専門スタッフと一緒に考え支援する2つの教室があります

【対象者】 ● あそびのひろば

1歳半健診で発達が気になった子

● ぱすてるひろば

「あそびのひろば」から引き続き支援が必要な子



- 親子体操
- 絵本読み聞かせ
- 手遊び など

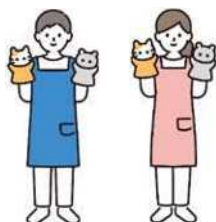


あそびのひろば

ぱすてるひろば

※市内保健センター(城東、東部、南部、清水)、
市立体育館 などを会場にして実施

入園後も手厚くサポート



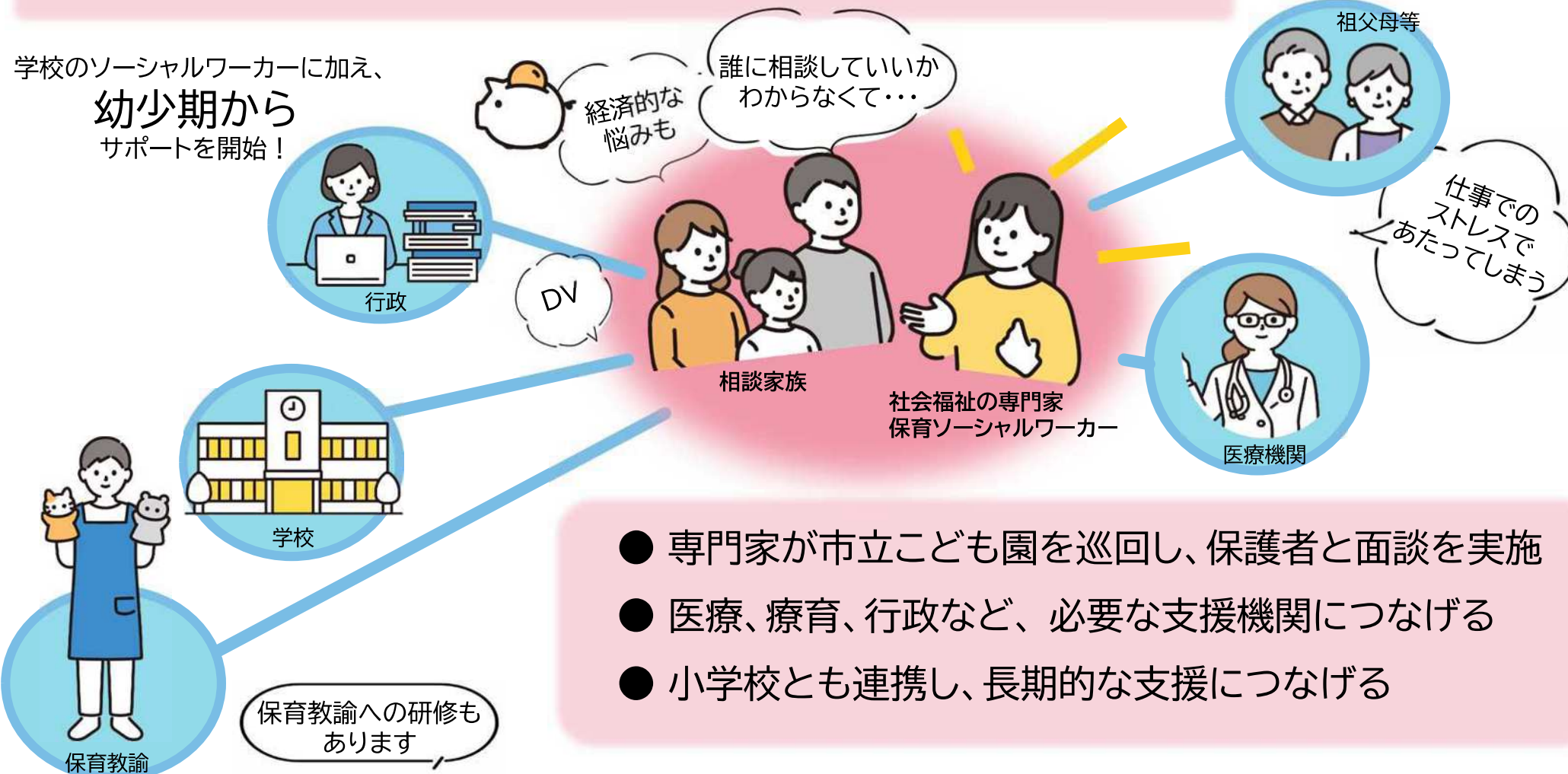
入園中も支援の必要な子を見極め、その子に合わせた
教育・保育をします！

※手厚い職員配置の確保、保育士の専門性を高める取組

保育ソーシャルワーカーの市立こども園巡回



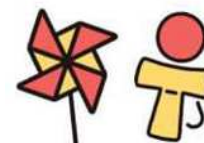
- 「家庭の問題」と人に頼りにくいかいことも専門家に相談できます！



- 専門家が市立こども園を巡回し、保護者と面談を実施
- 医療、療育、行政など、必要な支援機関につなげる
- 小学校とも連携し、長期的な支援につなげる

(子どもの遊び場設置・運営)

廃校を利用した中山間地の遊び場



廃校(旧両河内小学校)を利用して、
雨の日でも遊べる屋内施設をオープンしました！
体育館で、スポーツや絵本・おもちゃで遊ぶことができます。
(旧西河内小学校・令和6年度のみ)
今後、設置場所を増やす予定。

R6.5.3
スタート



清水駅前銀座商店街の遊び場

- 商店街全体が遊び場！
- 遊び・学び・体験ができる
イベントも開催します♪
(清水駅前銀座商店街)



R6.8頃
スタート予定

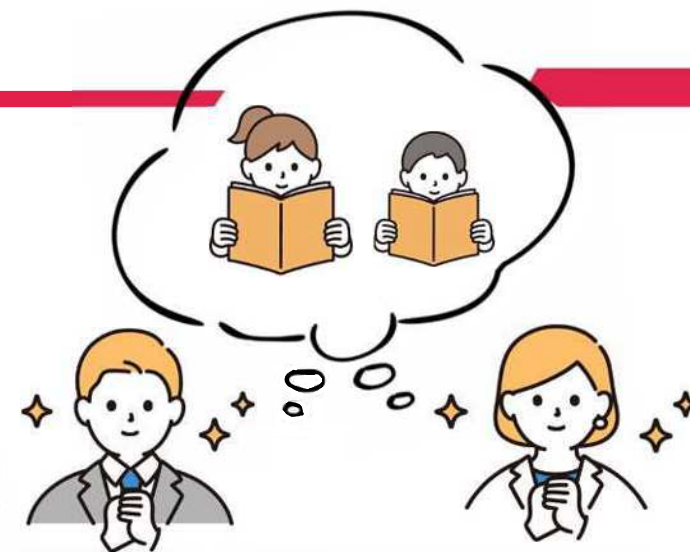
中心市街地の遊び場設置補助

まちなかで、思いきり体を動かして
遊べる屋内型遊び場の設置に係る経費を
市が補助します！
(静岡・清水中心市街地)

土曜日の開所を清水区でもスタートします！

- 葵区・駿河区だけでなく、清水区の児童クラブでも土曜日の利用ができるようになります！
(清水区4か所の拠点で実施)
- 周辺クラブの児童も一緒に利用することができます
- 子どもの居場所づくり＋
保護者の働きやすさをサポートします！

R6.10
スタート



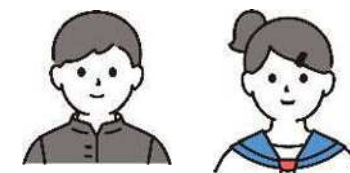
子どもたちが楽しく勉強・生活できるような支援

子育て支援

【対象者】生活保護・就学援助・児童扶養手当受給世帯の小学生から高校生まで

(子どもの貧困対策学習支援)

子どもたちの学習をお手伝い



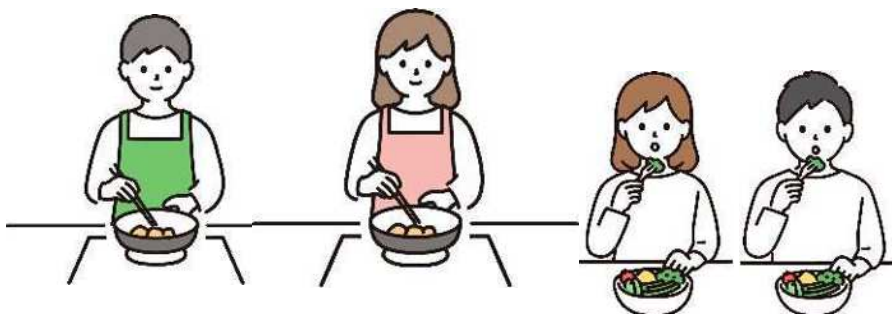
学生や社会人の支援員が学習のお手伝いをする事業を行っています！

※市内13会場



家庭的な雰囲気を感じ、生活への意欲を高める

どちらも週1回
無料で参加
できます！



食事の支度や食事、季節行事等を通じて楽しく安心して過ごせる居場所です♪

※市内3会場

住まいに関する子育て支援

①子育て世帯等の住替え※に係る住宅改修補助の拡充をしました！

- ・子育て世帯（中学生以下の子どもがいる世帯）
- ・**40歳未満の夫婦世帯**
- ・市外移住者

※空き家を購入又は賃貸借し改修工事をした場合

100万円 ⇒ **200万円** に拡充！

②子育て世帯・40歳未満の夫婦世帯に宅地を提供します！

- ・駿河区 高松（1区画/ 130㎡）
- ・駿河区 向敷地（1区画/ 138㎡）



今後設立予定の新法人の中で、空き家情報バンクの登録数の増加に取り組めます！

今後の子育て支援



子育てに関する様々な不安、要望

私たちの取組は、
まだまだ、十分ではありません。

をお聞かせください。

方向

子育て環境を取り巻く、不安や要望を基に
市民の皆様が、「欲しい！」と思う支援を着実に届け続けていく
ように日々改善していきます！



「日本一安心して子どもを産み育てやすいまち」実現

取組についてのお問合せ先 皆様の声をお聞かせてください！

取組	所管課	電話番号
しずおかエンジェルプロジェクト	青少年育成課(育成係)	054-354-2614
結婚新生活支援	青少年育成課(育成係)	054-354-2614
不妊治療支援	子ども家庭課(給付係)	054-354-2649
伴走型相談支援	子ども家庭課(母子保健係)	054-354-2647
第2子以降の保育料負担軽減	幼保支援課(システム係)	054-354-2630
発達早期支援	子ども家庭課(母子保健係)	054-354-2647
こども園・保育所等気になる子への保育支援	幼保支援課(給付係)	054-354-2626
保育ソーシャルワーカー活用	こども園課(幼児教育・保育推進係)	054-354-2636
子どもの遊び場設置・運営	子ども未来課(子育て支援推進係)	054-354-2607
放課後児童クラブ整備・運営	子ども未来課(児童クラブ係)	054-354-2604
子どもの貧困対策学習支援	子ども家庭課(ひとり親家庭支援係)	054-354-2651
空き家利活用促進・子育て宅地提供	住宅政策課(住まいまちづくり係・空き家対策係)	054-221-1590・1192

静岡市の
詳しい子育て施策は、
こちらから➡



←しずおかし
子育てハンドブック



←静岡市
子育て応援総合サイト
ちゃむしずおか



←静岡市
ホームページ